

記紀異伝比較(天孫降臨)

事件	古事記	日本書紀					
		本文	一書①	一書②	一書④	一書⑤	一書⑥
記述形式	国譲りの段の次に、新しい段落として記述	天孫降臨の中に国譲りを前段として組み込む					
降臨勅者	天照大御神と高木神	高皇産霊尊	天照大神	高皇産霊尊	高皇産霊尊	-	高皇産霊尊
降臨の前段での記述		葦原中国に天穗日命、子である大背飯三熊之大人、天稚彦を派遣。いずれも失敗。武甕槌神、経津主神を派遣し、国譲りを実現	豊葦原中国に天稚彦、雉を派遣。武甕槌神と経津主神を派遣し、国譲りを実現	経津主神と武甕槌神を派遣し、天津甕星(天香香背男)を討伐後、国譲りを實現	-	-	葦原中国に天稚彦、無名雄雉を派遣。国譲りなし
当初の降臨者	正勝吾勝勝速日天之忍穗耳命	天津彦彦火瓊瓊杵尊(正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊と高皇産霊尊の娘の栲幡千千姫の子)	正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊	天忍穗耳尊	天津彦彦火瓊瓊杵尊	-	天津彦彦火瓊瓊杵根尊(天忍穗根尊と高皇産霊尊の娘栲幡千千姫万幡姫(火之戸幡姫の子の千千姫)の子)
勅命	葦原中国の統治	葦原中国の統治	葦原中国への降臨	-	-	-	葦原中国への降臨
変更後の降臨者	邇岐志国邇岐志天津日高日子番能邇邇芸命(天忍穗耳と高木神の娘の萬幡豊秋津師比売命の子)	-	天津彦彦火瓊瓊杵尊(忍穗耳尊と思兼神の妹である万幡豊秋津姫命の子)	天津彦彦火瓊瓊杵尊(天忍穗耳尊と高皇産霊尊の娘の万幡姫の子)	-	-	-
変更後の勅命	豊葦原の水穂国の統治	-	葦原の千五百秋の瑞穂の国の統治	-	-	-	-
変更された理由	天津日高日子番能邇邇芸命が誕生したため	-	天津彦彦火瓊瓊杵尊が誕生したため	天津彦彦火瓊瓊杵尊が誕生したため	-	-	-
降臨時の服装	-	真床追衾	-	-	真床覆衾	-	真床覆衾
先導役	国つ神の猿田毘古神	-	猿田彦大神	-	-	-	-
降臨地	天の浮橋→浮島→筑紫の日向の高千穂の霊峰(この地は韓国に相対しており、笠沙の御崎にまっすぐ道が通じていて、朝日が真っ直ぐに差す国であり、夕日が明るく照る国)	日向の襲の高千穂の峯→櫛日の二上の天の梯子→浮島の平な所→瘦せた不毛の地→吾田国の長屋の笠狭崎	筑紫の日向の高千穂の櫛触峯	日向の櫛日の高千穂の峯→笥穴の胸副国→浮島の平な所	日向の襲の高千穂の櫛日の二上峯の天浮橋→浮島の平なところ→笥穴の空国の吾田の長屋の笠狭の御崎	-	日向の襲の高千穂の添の山峯→吾田の笠狭の御崎→長島の竹島
随伴者	・天兒屋、布刀玉、天宇受売、伊斯許理度売、玉祖 ・思金、手力男、天石門別 ・天忍日、天津久米	-	天兒屋命、太玉命、天鈿女命、石凝姥命、玉屋命	天兒屋命、太玉命、諸神	天忍日命、天櫛津大来目	-	-
持参した神器	八尺瓊勾玉、鏡、草那芸之劍	-	八坂瓊曲玉、八咫鏡、草薙劍	宝鏡	-	-	-
降臨地の支配者	-	事勝国勝長狭	-	事勝国勝長狭	伊弉諾尊の子の事勝国勝長狭(塩土老翁)	-	事勝国勝長狭
結婚	笠沙の御崎で見つけた大山津見の娘の神阿多都比売(木花之佐久夜毘売命)。姉は石長比売	大山祇神の娘、鹿葦津姫(神吾田津姫、木花開耶姫)	-	大山祇神の娘の神吾田鹿葦津姫(木花開耶姫)。姉は磐長姫	-	大山祇神の娘の吾田鹿葦津姫	大山祇神の娘の木花咲耶姫(豊吾田津姫)。姉は磐長姫